

避難実施計画
(東通村小田野沢地区)

東通村長
月 日 時 分現在

1 避難指示の内容

東通村の小田野沢地区の住民は、指示に従って避難すること。

2 原子力緊急事態の概要

緊急事態該当事象発生日時 令和 年 月 日 : (頃)

発生場所 東北電力(株)東通原子力発電所1号機

被害状況 現在のところなし

放射線等の状況 周辺環境への放射性物質の放出なし

放射性物質の拡散予測

気象状況(現在) 天候: 気温: 風向: 風速:

気象状況(避難時) 天候: 気温: 風向: 風速:

その他特記事項

3 避難の概要

避難対象地域 東通村小田野沢地区

避難先市町村 青森市

避難方法 自家用車及びバス

避難開始予定日時

避難完了予定日時

その他留意事項等

4 関係機関の状況

措置の状況	警察	
	消防	
	その他	

公共交通機関

5 避難者数(単位:人)

※避難行動要支援者数の目安:平成27年要介護3~5、身体障害者1・2級、療養手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級の単身世帯、難病患者、自治体が支援を決めた方及びその付き添い者

地区名			小田野沢地区	合計
避難者数 (令和4年12月1日現在)			740	740
うち避難行動要支援者の 目安*			36	36
うち外国人等の数 (令和4年12月1日現在)			0	0

6 一時集合場所、避難施設				
6-1 一時集合場所（自家用車による避難が困難な場合）				
避難対象地域	小田野沢地区			
一時集合場所名	小田野沢地区 学習等供用セ ンター			
所在地	小田野沢字北向 37-2			
連絡先（電話等）	0175-48-2003			
※津波等により海拔の低い 一時集合場所が使えない場 合	東京電力 HD(株) 新小田野沢寮 敷地			
連絡担当者	防災安全課			
一時集合場所への交通手段	徒歩			
その他留意事項等	災害により一時集合場所が被災する可能性がある、または被災により使用できない場合は再検討する。			
6-2 避難施設				
避難先市町村	青森市			
避難施設名	マエダアリーナ（新青森県総 合運動公園総合体育館）			
所在地	青森市大字宮田字高瀬 22-2			
収容可能人数（人）	2, 560人			
連絡先（電話等）	017-737-0600			
連絡担当者				
その他留意事項等				
7 避難手段				
輸送手段	鉄道 ・ <u>バス</u> ・ 船舶 ・ <u>自家用車</u> ・ その他（ ）			
輸送手段の詳細 （バスについて）	種類（車種等）	バス（定員 40 名とした場合）		
	台数	小田野沢地区：1 台（約 36 名）		
	輸送可能人数	最大 40 人（定員 40 名とした場合）		
	連絡先	下北交通(株)むつ営業所：0175-23-3111 (株)尻屋観光本社：0175-28-5555		
輸送力配分の考え方	避難行動要支援者の数でバスの必要台数目安を積算			
その他の避難手段	避難行動要支援者	自家用車の乗合、バス、福祉車両等		
	その他（入院患者等）	医療機関ごとの車両、またはバス等		
8 避難経路				
避難に使用する道路	国道 338 号を北上→むつ市道酪農 1 号線→国道 279 号→国			

		道4号→青森市へ。	
交通規制	実施担当機関	むつ警察署等	
	規制場所	東通村避難計画（原子力編）図4-2参照	
その他留意事項等			
9 避難誘導方法			
地区名		小田野沢地区	
一時集合場所への 避難方法	誘導の実施単位	地区ごと	
	交通手段	徒歩	
	一時集合場所	6-1参照	
	集合時間	月 日 :	
	その他（誘導責任者等）	-	
避難施設への避難 方法	誘導の実施単位	地区ごと	
	輸送手段	自家用車及びバス	
	避難経路	8参照	
	避難先市町村	青森市	
	避難施設	マエダアリーナ（新青森総合運動公園総合体育館）	
	避難開始予定日時	月 日 :	月 日 :
	避難完了予定日時	月 日 :	月 日 :
	スクリーニングポイント		
	その他（誘導責任者等）	-	
避難行動要支援者の 避難方法	誘導の実施単位	地区ごと	
	避難行動要支援者への支援事項	避難行動要支援者名簿個別計画を参考に対策を検討する。	
	輸送手段	自家用車の乗合、バス、福祉車両等	
	避難経路	8参照	
	避難先市町村	青森市	
	避難施設	マエダアリーナ（新青森総合運動公園総合体育館）	
	避難開始予定日時	月 日 :	月 日 :
	避難完了予定日時	月 日 :	月 日 :

	その他留意事項等		
10 対応要員の配置計画			
配置場所	各地区の一時集合場所		
人数	村職員 4 名程度		
担当業務	広報活動及び住民の避難誘導		
連絡先	-		
11 残留者への対応			
確認対象地区	各地区		
確認者	村職員、消防団等		
確認開始予定日時			
確認終了予定日時			
確認方法	地区内への広報及び見回り		
12 安定ヨウ素剤の予防服用			
安定ヨウ素剤予防服用の指示の有無	予防服用の指示有り ・ 予防服用の指示無し		
安定ヨウ素剤の配布の有無	配布を受けた（有） ・ 配布を受けていない（無）		
安定ヨウ素剤の配布（予定）場所	有の場合		
	無の場合		
安定ヨウ素剤服用時期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国が決定した方針に従い、または村の独自の判断により、直ちに服用できるよう、県と連携し、事前配布も含めた必要な措置を講じる。 ・ 今後、国による検討結果も踏まえて随時見直しを行うものとする。 		
13 避難誘導時の食料の支給			
食事時間			
食事場所			
提供する食事の種類	・ 避難住民への水・食料の支給については予め関係者間において協議する。		
実施担当部署	健康福祉課		
連絡先	0175-28-5800		
14 避難時の留意事項（住民への伝達事項）			
基本事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難時には貴重品や身分証明書、最小限の着替えや服用中の薬などを携行すること。 ・ 服装は、長袖の上着、ズボン、帽子、手袋、マスクなどを身につけできるだけ皮膚の露出を避けること。 ・ 隣近所に声を掛け合い助けあって避難すること。 ・ 家畜やペットについて、可能であれば長期の餌・水などを与えてよいが、人の避難が最優先であること。救助につい 		

	<p>ては、避難後に行政等の指示に従うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な場合は2日分程度の食料を持って避難すること。
時期等の特性	
15 誘導時の留意事項（職員等用）	
基本事項	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は冷静に行動し、住民の安全の確保や適切な情報伝達に努めること。 ・防災服や腕章等により、立場や役割を明確にすること。 ・住民にわかりやすく状況を説明し、無用な不安を与えないこと。
モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・避難誘導中、定期的に測定し、測定結果を避難住民に伝えるとともに、対策本部にも連絡し、情報共有を図る。また、住民に伝える際には、わかりやすい説明を心がけ、無用な不安を与えないこと。
16 その他	
避難実施計画の住民への伝達方法	防災行政無線、広報車等を活用する。
避難実施計画の伝達先	別添配布先一覧
職員間の連絡先	別添電話番号表一覧
17 緊急時連絡先	
災害対策本部	<p>電話：</p> <p>FAX：</p>

附属書類

- 1 「避難単位毎の避難施設」
- 2 「電話番号表一覧」
- 3 「伝達先一覧表」